



町のわだい

今月の題字 山内 ^{きよか}清楓さん（豊間根小5年）

大沢ふるさとセンターが供用開始 地区住民らが新施設の完成祝う

大沢ふるさとセンターが完成し、4月17日から供用を開始しています。老朽化のため町が旧大沢小学校跡地に移転新築したもので床面積は456㎡で集会所と避難所の機能を合わせ持つ一体的な施設として整備されました。5月21日には落成記念祝賀会が開かれ、関係者ら約100人が参加。大沢地区コミュニティ推進協議会の昆暉雄会長が「新たな施設が完成し、とてもうれしく思います。センターが災害時の対応などを含め地域活動の拠点として役立てられるよう努めていきます」とあいさつし、地区の皆さんによる踊りや歌などで新施設の完成を祝いました。



山田高校で選挙啓発授業 投票の重要性などを学ぶ

5月31日、山田高校（伊東理俊校長・70人）で「明るい選挙啓発授業」が開かれ、2・3年生43人が投票の重要性などを学びました。これは、岩手県明るい選挙推進協議会（百済和夫会長）が、選挙への理解を深めてもらうために開催したもので、授業では県選管の職員が選挙権拡大の歴史や選挙の意義などをクイズ形式で紹介。その後は、実際の選挙で使用する投票箱を用いた模擬投票も行われ、選挙公報から候補者の公約を読み解き、1票を投じました。授業を受けた佐藤暖斗さん（3年）は「実際に投票する雰囲気をつかむことができました」と話していました。

「海の生き物学習会」に87人 身近な海の生物への理解深める

町教育委員会が主催する「海の生き物学習会」が6月6日と7日に船越のしもかわ公園で開かれ、豊間根小学校（富澤広子校長・児童124人）と山田小学校（佐々木哲也校長・児童369人）の2年生87人が身近な海の生物への理解を深めました。6日に行われた豊間根小の学習会では、バケツを手にした児童らが磯場を散策し、岩の下に潜むヒトデやカニ、貝の仲間を見つけては観察した様子を専用の記録ノートに書き込んでいました。参加した豊間根未来さんは、「実際に生きている様子を見ることができて楽しかったです」と感想を話していました。

